

# い な づ ま

題字 小寺寛一

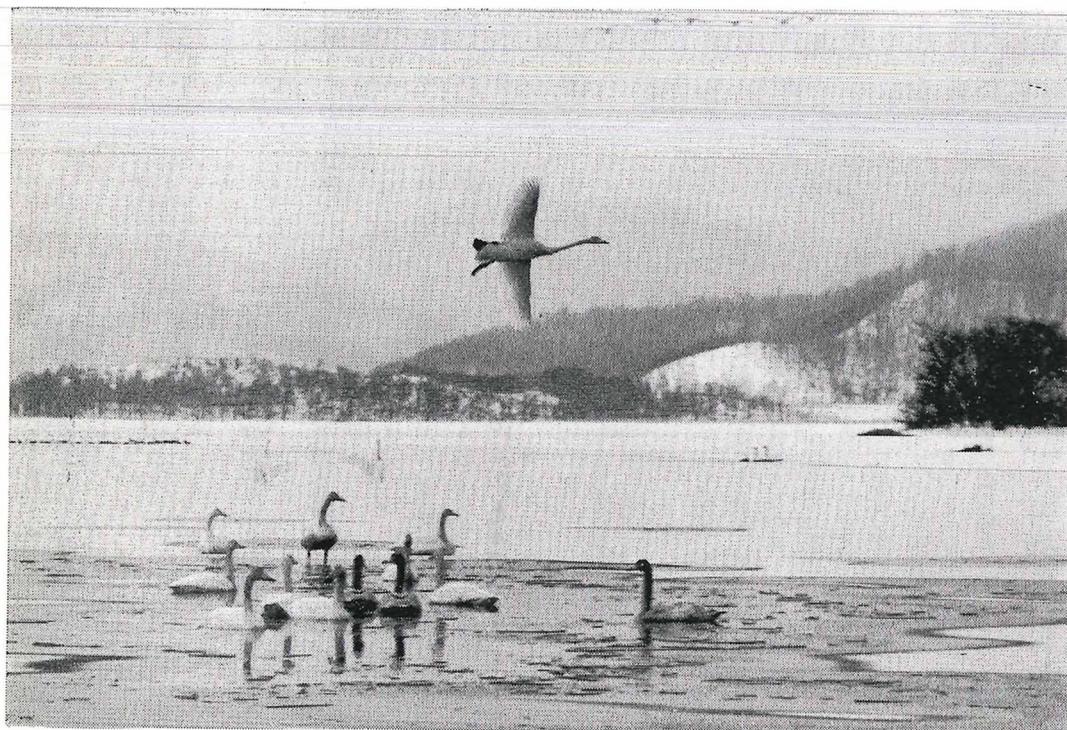
発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 有限会社 豊國堂印刷

謹  
賀  
新  
年



【大沼公園の白鳥】

支店長 あいさつ

北海道電力株式会社函館支店

支店長 村岸嘉幸

『きびしい年明けに臨んで』



みなさまには、おだやかな天候に恵まれたお正月を、ご家族お揃いで迎えられましたこと、心からおよろこび申しあげます。

お正月のお天気とは裏腹に、今年は、昨年以上に、企業経営や社会生活のうえで、きびしさが強くなるのではないかと思われます。

インフレと不況による電力需要の伸び悩みや、石炭原価など燃料価格の高騰、電源立地難というように電気事業の経営に直接ひびくきびしさを、生身に感じていますが、貴組合のみなさまにおかれましても、色々なかたちで、経営圧迫の現実に遭遇しているものと思います。

しかし、このような局面にあってこそ、企業の底力を発揮しなければならないのではないでしようか。

一部には、今年は不況脱出の年と期待するむきもあります。ですが、むしろ、人間の叡智は無限であることを信じて、積極的に不況の限界に挑む「攻め」の経営姿勢に踏み切ることが大事なことではないかと存じます。

きびしい年明けに臨んで、みなさまのご発展を社念申しあげるとともに、道南をはじめ本道における電気事業の円滑な推進のためにみなさまの絶大なご支援をお願いする次第でございます。

# 新年の挨拶

理事長 大倉伸夫



新春を迎える事の出来ました事は、誠に御同慶いたえません。然し今年は昨年に勝るとも劣らない大変な年であります。此の様な景気を偉い人達は安定成長と呼ぶのだそうで安定成長が続く限り景気の回復を期待する事は出来ません。親方日の丸のお役所企業と違い、私共は夫々の努力に依って自分の仕事を守り抜かねばならないのでありますから、個々の置かれている環境に即応して、今までの何とかなる、又何とかなつて来たという考え方を変換すべき大事な年であるうと思ひます。

今までの物の豊さを求めて企業は限りなく前進するものと考えてきた事が一挙に崩れたり、工事量即ち売上第一主義から付加価値主義の経営へ、中身の充実した質の経営に切替えて行く大事な年であります。

組合の責務も益々重要となる事と思いますので今年も組合を中心にして皆様はもとより家族従業員の皆様共々事故なく厳しい一年を過されます事を御願い申し上げ新年の御挨拶と致します。



# 役員会だより

## 第八回役員会

五十・十一・五

### 一、慶弔報告

日平電装(角)社長梁川鉄男氏病氣入院見舞

### 二、貸付報告

なし

### 三、移動役員会結果報告

### 四、各支部報告

### 五、各部会報告

### 六、電気工事業者登録の更新について

連合会の役員会開催後、方針を決定したい。

### 七、その他

(一) 年末に於ける電設工事の申し込みについて  
(二) 電気工事による第三者災害の報告について現在一件の報告もないが、今後、事由が発生した時は必ず報告願いたい。

### 八、その他

(一) 次の者の組合加入申し込みについて審議の結果承認された。  
大島電気工業 大島芳勝  
(二) 事務局の年末年始業務について

## 第九回役員会

五十・十二・十六

### 一、慶弔報告

モリヤ電飾代表者森谷勇一氏病氣入院見舞

### 二、貸付報告

八社 二七〇万円

- (一) 計器箱の決済をすぐ出来ないか  
(二) 各組合員の貯蔵品を交換又は売買する方法を  
とって欲しい。

- 訓練部会||技能競技大会の予選出場者を募集したが、申し込みが少ないので、一月十七日に延期する。

- 総務部会||いなづまの発行は年内にする。  
新年号は二月上旬で、支部制についての支部長意見を掲載したい。

- 経理部会||売掛金の回収について調査したが、二十四日頃中間監査を実施するので、再度調査の上督促する。

- 尚大倉理事長より上期の予算執行について説明あり。

- 五、中金出資金の増額について

- 三、〇〇〇〇口、三十万円の増資を了承

- 六、新年宴会について

- 一月二十八日(水)に決定、詳細については後日検討の上決定する。

- 七、連合会の賦課金値上げについて

- 五十一年一月より一〇〇円の値上げが、決定された旨報告あり。

- 八、その他

- (一) 次の者の組合加入申し込みについて審議の結果承認された。

- 大島電気工業 大島芳勝

- (二) 事務局の年末年始業務について



# 組合行事

12月1日	電気工事業者登録の更新事務打合会議
4日	函館総合高等職業訓練校後援会総会に大倉理事長出席
5日	渡島支庁担当官によるモデル訓練校の監査
12日	連合会役員会に大倉理事長出席
13日	電気工事業者登録の更新説明会（於江差）
14日	同 同 右
15日	第九回役員会
16日	電気工事業者登録の更新説明会（於組合）
17日	電気工事業者登録の更新説明会（於組合） (於八雲) (於知内)
18日	同 右
19日	同 右
20日	同 右
21日	道職業訓練課佐藤主査、訓練校視察のため 来函
22日	同 右
23日	組合会計中間監査
24日	御用仕舞
25日	御用仕舞
26日	電気工事技能競技大会函館地区予選打合せ
27日	連合会役員会に伊東理事出席
28日	電気工事技能大会打合会議
29日	電気工事技能競技大会函館地区予選打合せ
1月6日	会議
1月13日	電気工事技能競技大会函館地区予選
1月16日	電気工事技能大会打合会議
1月17日	電気工事技能競技大会函館地区予選
20日	北見地区電気工事業協同組合二十五周年記念式典に大倉理事長出席
同日	いなづま編集会議

## “電気保安功労者” の受賞

（電気工事業者営業所）

日本電機保全株式会社

細川政明氏



去る一月二十八日札幌通産局に於いて栄の

通産局長賞をうけられました。

これは、永年電気安全について、保守保安の運営並に教育が充分行われて居り、他の模範として認められたもので、普段の努力の賜とお喜こび申し上げます。

## “交通栄誉章” の受賞

（有）佐々木電気工業所

佐々木 三男



去る一月二十日東京

日比谷公会堂で行なわれた第十六回交通安全

国民運動中央大会の席上、交通安全功労者に与えられる全国表彰としては、函館市内では二人目という栄誉交通栄誉章“緑十字銀章”を受賞されました。

心からお喜こび申し上げます。



# 賀

# 函

監	事	佐々木	高橋	吉田	細川	池田	岩越	副理事長
平	森	成	竹	田	橋	唯	東	伊東
井	谷	田	幹	幹	英	吉	崎	幾郎
行	勇	房	雄	雄	要	義	義	松崎
衛	一	子	一	一	熏	伸	伸	猪股
	雄	作	房	房	吉	夫	夫	貫一

## 電気工事業者登録の更新について

第一回目の登録更新にあたり、昨年十二月中、前後六回に亘り説明会を開き、事務をすすめきましたがこのたびようやく纏まり、関係機関へ提出出来る段取りになりました。

参考迄に、それぞれの手続件数を掲げますと、次のようになります。

一、登録更新件数 八八件

二、登録事項等変更件数 一三件

三、届出事項等変更件数 二三件

四、登録廃止、開始届出件数 一六件

五、新規登録件数 一件

前述の数字の内容を簡単に説明致しますと二の登録事項等の変更については、殆んどが住所変更で、個人企業から会社組織に変わったのが三件含まれて居ります。三の届出事項等の変更については、建設業者許可番号の変更が大部分で、このことについては殆んど手続きをされて居らなかつたとも言えるかと思います。又從来から届出業者である組合員の数は六九社であることを推察すると、この手続きをしなければならない方がまだ居るのではないかと思われますので、心当りの方は、事務局の方までご照会下さい。

四の登録廃止、開始届出については、「いなづま」の前号にも説明した通り、從来電気工事登録業者であつたかたが、建設業者の許可を受けたときに必要な手続きなのですが、十六件もあつて、早い方は昭和四十年に建設業者との許可を受けて居た方も居りました。

今後、電気工事についても、一件当たりの工事金額が一五〇万円以上（この金額の中には材料代を含む事は勿論、材料が支給された場合でもその価格を加えたものですが）になることが多くなつてくるにつれて建設業者の許可を受けなければならなくなつてくると思いま

すが、建設業者の許可を受けた場合は、遅滞なく、登録廃止と開始届出の手続きを行なつて下さい。

五の新規登録の一件は、從来建設業登録業者であったのですが、建設業法の改正の時に許可制に変更したのです。そのため全く新規に登録申請が必要になつたもので

以上簡単ですが概況をお知らせ致します。

（事務局 坂本）

## 支部制三年

当組合に支部制が発足して早や三年にならんとして居ります。皆様の中にはそれぞれの評価があるものと思いますが、今回各支部長に感想文をお願いしたところ多忙の中を四氏が寄稿して下さいました。次号も欄をあけて待って居ります故、支部長はじめ以外の皆様の御意見など、投稿下さる様お願い致します。

東支部長 佐々木 請 作

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

一昨年の石油ショック以来、世界的な不況の中に巻き込まれた日本も、「大海原の中の一枚の木の葉」の様に、激浪にもまれ続けた昨年でした。

戦後の日本は「追風の経済」と言われて順調に発展して来ましたが、一転して厳しい「向かい風の経済」となり、今年は少し暖かい微風が吹きそなうな気配を感じられますが、まだまだ油断のならない年と思われますので、新らしい年を迎えて皆様方個々の企業に於いても、充分留意されて繁栄されることを念願致します

さて、十二月の役員会で、「いなづま新年号」に各支部長何かを書いて呉れ」との依頼がありましたが

「国語」と「作文」が一番苦手な課目だつただけに、かくと言えば「恥を書いて頭をかく」ことしか出来ないので、編集長氏の顔を立てて普段思つて居ることを少し書いてみようと思います。

省みて、組合員個々の意見を直接役員会に反映させると、昭和四十五年五月、北工連絡会メンバーや志により、組合員個々の意見を直接役員会に反映させ、永年私の持論であった「組合の正式な組織としての支部制」が発足した事は、「組合会館の建設」と共に組合の歴史に特筆すべき出来事でした。

当支部の第一回支部会議で、支部全員より「君が支部長をやれ！」と言われて、「私は適任ではない、まだ立派な方で適任者が居るのでその方にやつてもらいたい」と固辞したのですが、頼まれれば否と言えない足元を見すかされてか？

「何か問題が起きたり、何かをしなければならないときには、我々が全面的に協力するから軽い気持ちでやれ」と言う言葉に欺されて、到々支部長をやらされない羽目になってしまった。

任期途中と言うことでもあり、一応臨時と言ふ事で受けたはいいが、知識もなければ経験もない「真暗闇の中を手探りで歩く様なもの」で、支部長とは何だらう？一体何をやればいいのか？その責任は？考えれば考える程頭が痛くなり、これは大変な仕事を背負い込んだものだと、当時は随分悩んだが、とにかく「支部員相互の意志の疏通を図り、親睦を深めること」を重点目標として、支部会議は和氣藪々の雰囲気の中で好き勝手なことを大いに言つてもらい、その中から建設的で実行可能な意見をピックアップして役員会に反映させたり、何かを決めなければならないことが出来たときには、その都度協議して決めてゆこう、短兵急に事を運ばず、じっくりと時間をかけて、いい支部を作つてゆこう……。

支部長は、役員会／支部会の単なるメッセンジャー／ボーキ的な存在であつては何の価値もない。終始一貫

した信念をもつて支部を掌握して支部会を主宰し、役員会一支部会、支部会一役員会と、ストレートに、正確に意志・意見を報告反映させなければならない責任がある。そのためには役員会で発言もしなければならないし、記録もとらなければならぬ。(これはやつてみると、大変難しい仕事です。誰か、代ってやってみて下さい!)役員会の議事の中から、取捨選択して報告、支部独自の議題を提供する材料も探さなければならぬ。

或る問題について、支部会で甲論乙駁、仲々結論の出ないときには、その聞き役、まとめ役もし、問題によつては適当にリーダーシップを發揮しなければならないこともあります。亦、ときには役員会で、理事としては賛成の問題であつても、支部長としては『支部の意見を背景として』反対しなければならない『忠ならんと欲すれば孝ならず、孝ならんと欲すれば忠ならず、身体ここに詰まつた』の心境のときも過去に何度かありました。

支部長と言う仕事をやらされて為になつたことと言えば、自分自身のために種々な面で非常にいい勉強になつたこと。

一番辛かつたことは、仕事が忙しいと言つて支部会を欠席出来なかつたことだ。

役員会を欠席すると、支部に報告が出来ない。日時が決つていて支部会に支部長が欠席する訳にもゆかず(余りクソ真面目すぎたかな?)今日の会議を休んで仕事の打合せ、又はまとまつた仕事が契約出来るといつたときなどは泣く泣けない気持ちで『何故仕事を犠牲にしてまでこんな役をやらなければならぬのだろう?』いつそのこと支部長など辞めて終つたなら、自分の仕事を専念出来て、どれ程プラスになることか……と思つたこともしばしばあつたが、これも『支部長としての宿命と達観』として、今では支部員皆さん利益になることなら、仕事と両立する様に出来るだけ努力をしようと思つて居ります。

ともあれこの二年半余り、曲りなりにも支部長をつめて支部制を軌道に乗せ、現在の様に成長させることが出来たのは、支部員諸氏の最大限の協力の賜と深く感謝して居ります。

まだまだ『これも書かしてもらつたり』『あれも言わせてもらひたい』事が沢山あるのですが、紙葉の関係で割愛致します。

最後に組合員の皆様にお願いと提言を一つづつ…。

一、最近支部会議の出席率がだんだん悪くなつて来て居ります。過去の『見せない、言わせない、聞かせない』式の組合から、支部制が出来たことによつてガラス張りの組合にイメージ・チエンジしたことでもあり一人一人が役員会に出て、よりよい組合を作つて行くのだと言う意識をもつて、支部会には是非出席していただきたいと言うお願いです。

一、前回の総会で、最初の支部長理事の選出を行なつたのですが、その選出方法に問題点が幾つかあります。

改選を行なう総会も、もう間近に迫りました。毎度その時期になって同じ問題を論議するのは時間の浪費です。組合員全員の納得出来る様なルールを確立するため、博識多才な皆さんのお意見、名案を支部会などを通じてどしどし寄せ下さると言つ提言です。

どこへ行ても不景気な話ばかりの昨今ですが、今年は辰年、大きい夢を見、大きいホラでも吹いて不景気風を吹き飛ばして「天にも昇る」と言う昇龍のようになり過去に蓄積した地力を發揮して大いに躍進しようではありませんか!!

簡単、乱文ながら皆様方の洋々たる事業の前途と組合の発展を祈つてペンを置きます。

西支部長 細川政明

あけましておめでとうございます。

省えりみればインフレと不況の二年間に亘る長い経需要抑制の、まったく暗い水面下の一年でした。皆様に於かれましても夫々の御苦労のあつた苦難の年であつたことと存じます。今年は昇龍の年、新年を迎えるに当り相当の抱負をおもひのことと思ひますが年初から種々の報道も決して明るいものではありません。

昨年十一月経團連理財部がまとめた「景気動向に関する意見調査」の中にも、五十一年度の景気を大まか

に言つてどう判断するかの調査に一〇〇社のうち「景気は悪化することはないが、はかばかしい立直りをみなしままで推移しよう」が二十八社、「マクロでは景気回復の年となるがミクロでは好説感が盛り上がりそうだ」が五十八社、計八十六社比率で九十二%が悲観的な見とおしを立てております。然も七十七社が政府支出に頼つており、三十四社が輸出に期待しております。その計六十五%が、政府支出や輸出振興策につとめた他力本願的な考え方では、民間の設備投資並に消費者需要の全く低滯している今日、国の経済を支えて来た従来の高度成長型は影をひそめた大変な年になるであろうかと存じます。

開銀経済局長であった下村治氏が、オイルショックの為 四十七年以降零成長は十年続くと発表し、経済界が『何を馬鹿な』と歯牙にもかけなかつた理論が、現在たつた一つの正論として見直され、経済評論家の高橋亀吉氏が経済人の甘さを常に叱正しており、この二人が現代の最も先覚者といい得ると思われます。皆様この二人の論説が新聞か雑誌に名前が出る度に目を通してご覧になることを御すめ致します。

いや俺たちは仕事だけていればいいんだ、人はどうでもいい、たしかにそうでしよう、しかしよつて来る経済の圧力焦燥に耐え、未来に灯をともすには現実の足元をよく見つめておかねばならないと思ひます。組合の運営にても、支部長の立場も、よつて来たる処の経済の現実を把握し、それにのつとった運営をしてなくてはならない時に來ているものと思ひます。

昨年倒産した資本金一億円の或る会社が、百億も借入金があつたりして、貸した銀行も銀行ですが、そういう矛盾が刻々とは正されつつある現実を直視して信用と信頼の度を高める社会にどんどん切り替つていく時代となつております。何としても自己資本と内部保留金を高めていかなくてはこれから経済についていく事が出来ないと思ひます。

吾々の組合も若い英知を結集して、是々非々主義を貫き、近代経営のアドバイザーとして業界の為に努力を重ね、冒險よりも一つ地道な組合員の利益による実績を積み重ね業界が発展していく事を希つて止みません。

## 江差支部長 竹田幹雄

支部制になつて三年、そななるのかなあとあらためて思うのですが、毎年組合員も増える傾向にあり、それ自体が利点と欠点を同時にかかえむ問題を含んでゐる訳であり、組合運営もそれだけ多様化するのは当然であります。その中で支部制を作り上げたのは運営上の善政であつたと、高く評価されてよいのではないでしようか。その最たるもの組合会館を、それこそ総意のかたちで完成させたのも支部制があればこそであり、又その趣旨が徹底されたのもその影響でないかと思われるのです。

これから問題については、全般の中の施策の中で多少の疑惑違いが生じることも無きにしもあらずと言ふ事、その場合は大目にみて頂きたいなあと思うものであります。

現在の様に理事長は非常勤でなしに、常勤制に出来ないものだらうか、役員手当にしても払うものは支払ってそのかわり、給料分だけの仕事をしてもらうべきではないだらうか、又道内の組合だけでなく、本州各地の各組合実情をよく調査して、現在の当組合が五年後、十年後には理想的にどの様な姿であるべきかの青写真を作れたらよいだらうなあと考えます。他の各支部への希望としては、先に示された工量制を基として適正利潤をお互いに守り合う話し合いを活発にしてもらつて徐々にでも安売りをなくする様にしたいものだとつくづく感ずるものである。

北支部長 池田唯吉

昭和五十一年辰年を迎へ、中小零細企業を問わず我が国経済は鍋底景気と言う不況の中にあって、天候だけは好天続きの正月であった事は、自然に對して有難く感謝の意を新年の挨拶と共に喜びたいと思ひます。今年も本当に最良の年であります様頑張り抜きましょ

う。  
省えりみれば不肖私も皆様の御支援と御協力を得て曲りなりにも理事（支部長）と言う大任を二期務めんとしております。この四年間に感じたことは種々あります。その中の、これだけは何とかと思つた事柄を一、二書きます。

組合員と理事者との意志の疎通並に役員会の議題、報告事項その他会合や提案事項等の合理化を目指して支部制を取り入れて発足し、その成果は誠に合理的な進歩であった事は、皆様と共に自画自讃する次第です。

役員会の席上、議題に対する審議事項や質問が多くて時間がかかり過ぎ、議事進行上甚だ不合理な結果が生じている事は認めますが、これは支部制の中で支部長と言う大役があるため、役員（支部長としてではなく）としては当然理解し、協調すべき事柄でも、支部会議の種々の意見を吸い上げ一応はまとめた支部長としての責任上、判断や発表の表現が支部長以外の役員達と異つた意見となつて出て来るからだと思ひます。従つて支部長は組合の役員でない方が望ましいと考えます。組合役員は、組合会般の事項に協力して専念すべきであるし、支部長は各部員の中から選任されて、支部にかかる業務を行うことが望ましい姿であると思ひます。そして、役員会にはその支部長も参加して支部の提案その他を会議に誇ける様な形がよいと思われます。どちらにしても今後の課題として、早急に役員会に於いて審議の方向付けが必要と思ひます。

## 【組合員消息】

一、一月十六日 川内谷電氣工事店代表者

一、十二月二十四日前十一時四十分頃（函）小林電氣商会の店舗及び住宅が隣家の失火により類焼さ

れました。

お見舞申し上げます。

恒例新年宴会行わる  
去る一月二十八日、湯川温泉ホテル旭館に於いて、午後五時半より北電来賓十七名、組合員一三一名、事務局八名、計一五六名の多数が列席して大倉理事長の挨拶から始まり北電村岸支店長の挨拶、続いて昨年道議に当選した松崎副理事長の、お札を兼ねた挨拶のち猪股副理事長の乾杯で宴に入った。

余興には函館出身、佐々木基晴社中の賑かな民謡が興をそえ、不景気風を吹き飛ばすかの様に楽しい談笑の三時間を過し、午後八時、北電金子次長の音頭による万才三唱で終宴した。



コーヒー物語

平沼智子

悪魔のよう<sup>に</sup>黒く  
地獄のよう<sup>に</sup>熱く  
天使のよう<sup>に</sup>清く  
愛のよう<sup>に</sup>甘く

十八世紀、フランスの大政治家、  
のものだそうです。

(一)エチオピアの山奥の高原で放牧されていた山羊たちが、ある日、バカにはしやぎ出したのを、羊飼いが見つけた。ふとまわりを見わたすと、その辺に自生している名も知らぬ赤い木の実が目に入った。どうやらこれが原因らしいと、羊飼いもおそるおそるその実を食べてみた。すると何とも言えずさわやかに気持がたかぶつてくるのを感じた。エチオピアのかつて地方の話であ

(一)十三世紀半ば、アラビアはモカの町。この町の美しい王女が悪病にとりつかれてしまった。そこで回教の高僧が呼び出され、祈禱を命じられた。祈りの靈験あらたかに王女は回復。ところが今度はこの高僧が王女に恋をしてしまった。勿論、国王は許すわけがない。遂に彼は国外に追放されてしまった。自殺を考えさまよっていた彼を元気づけたのが、何気なく手に取つた野生の赤い木の実。この実を口にすると、失恋の痛手はどこえやら、一生修業に邁進したと伝えられてい

恋の花咲くこともある  
と言うのがあったが、かくれたコーヒーの功德の一つ  
でもあるうか。  
コーヒーの味

(二) 未亡人

ひとつ味が欠けているようで、それでいて妙に魅  
力的な味

(三) 二度目の恋

初恋よりも甘くなく、初恋よりも長もちしそうな  
あっさりした味

この二つの味を出すのにどんな豆をどのようにミック  
スするのかは書いてはなかつたが、コーヒーについて

ラビヤ地方では煮たつたお湯の中に、じかに粉を入れる煮沸法なんてのがある外、ネルの袋で時間をかけて通すドリップ式。お湯が二度通るサイフオン式。濾過紙を使うカリタ式。パーコレーター式。イタリアンエスプレッソ式といろんな方法がある、がどれが一番おいしいのか、どれが一番正しい淹れ方なのかは、その人その人の思いにあるのかも知れない。通はいろいろむづかしい事を言う様であるが、要はおいしく、たのしくであればよいのではないかと思ふ。誰の歌であつたか、

れより少し大き目のコップに水が入っているのが一緒にはこぼれて来た。あとで聞いた話だが、ブランデーが入つてるので各自、水は適宜に飲むのだと事であつた。今コーヒーの事を書いてある文を読んで、なんとマア沢山あることよ!!、と驚いている。カフェ。ノワール。カフェ・オ・レー。ウインナ・コーヒー。カフェ・ロワイヤル。アイリッシュ・コーヒー。シンモン・コーヒ。ホット・モカ。ジャヴァ。等々まだ沢山書いてあつた。

今、どんな田舎町に行つても、一軒や二軒のコーヒー店のないところはない。大衆食堂でラーメンやカレー、ライスのメニューのとなりにコーヒーは立派に巾をきかしている。ちなみに函館市内のコーヒー店が何軒あるのか商工会議所で調べてもらった。（五十年十月現在）函館市内では約三百四十軒位のこと、一ヶ月のコーヒー豆の消費量は月、七トンから八トン位との事である。

お  
か  
め  
八  
目

その昔、電工として若さにまかせて電柱昇りや天井裏をもぐり廻って働き、夜疲れ抜きに焼酎をあおって

いた頃は、老後の事など、ついぞ考えた事がなかつたしかし息子や娘達に好きな人が出来て、結婚をしたいなんて話が出る様になつた今日この頃、始めて自分も老境に入つた事を今更乍ら感ずるのである。

昔、共に気合を掛け合い乍ら仕事を張りついた仲間達がそれぞれ独立し、各個の城を築くため一生懸命生きて来て、今日がある訳であるが、此の年月が白髪となり、禿となつて過ぎた月日の長さを物語つているのである。組合行事等で、半年振り一年振りに逢つた時、先づ出る言葉は「元気かい」である。己の体の調子が悪いので友達もそうではなからうかと先づ案するのである。血压で悩む者、神経痛で苦しんでいる人、その他の欠陥でそれぞれが多少なりとも悩み苦しんでいるから、先ず元気かねと聞くのである。そしてこの様な状態になつて、始めて気がつく事が多くなる。

昔、親方のもとで働いていた頃は、風邪をひいたと言つては休み、二日酔いだと言つては休んだものだが、独立して自分が親方ともなれば、朝早くから夜おそくまで走り廻り、多少の頭痛や腹痛はもちろん、三七・八度の熱があつても体を動かさなければならぬ、朝食前に一稼ぎ、仕事の切り目をみて昼飯、夜は夜でくたくたに疲れて来て不規則な時間に夜食を摂るのである。こんな落着かない商売をして苦しんだり笑つたりしている内に、いつしか人生の終末処理をしなければならない時が来るのである、当組合の半数以上の親方がこんな状態で「生活」をしており、生きているのである。

仲間の一人が病に倒れた、当然仕事は誰かに頼まなければならぬ、しかし頼まれた方もこのきびしい世相では義理人情だけでは面倒を見て呉れないでのある吾々いわゆる一人親方は自分が現場で働いてこそ生活の糧を得る事が出来るのであって、病院のベットでは何をかも駄目になつて了うのである。そこで考えたい。考え方ではないか「ある時の米の飯」という譬がある、いつかは人生の終末処理をしなければならない時が来るとすれば、その為に、その時の為にも、ある時の米の飯を残して置きたいものである。

今私達が、五十路の声を聞いてこの様な事を言うのはおかしいが、我が身をツネつて人の痛さを知る如く自分達の過ぎた日を振り返って、現在の若い親方達の将来の道するべとなる事を祈りつつ、正月休みに想い出された事を書いてみた。

## PHコーナー

### くの字

新年おめでとうございます。  
本年も「いなづま」を宜しくお願ひ致します。

吉田 要  
平沼 智子

佐々木 豊一(事務局)  
駒井 龍太郎  
坂本 三男

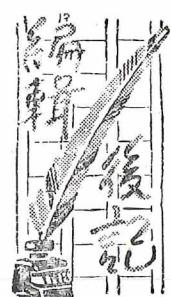
昔は「へつつい」で飯を炊いたものである、薪を燃やしてメシを作るので、ヘタをすると焦げたメシが出来る。この焦げたメシが男性に精をつけると言われていた。昔から「おこげ」と「お」の字をつけられたのも、こうした効果があるからである。そこで嫁さんは自分の亭主に強くなつてもらいたいとして夜毎愛してもらいたいと言ふ氣持かのう、ことさらには「おこげ」を作らうとする、すると姑婆さんが「オヤ、焦げ臭いヨ、早く火をお引き、毎日の事なのに」など意地悪く口を出す。その昔は、自分だって「おこげ」を作らうと努力をしたんだろうに。だから姑の居ない嫁さんは、安心して毎日「おこげ」を作った、と言うのがこの話のオチである。現在では電気やガスの炊飯器でメシを作るので「おこげ」は出来ない、いまの男共がヨワイのはこの故ではなかろうか。  
こげメン喰いたい!!

### 千駄木まいりの好き女

女が自分の旦那に内緒で、ほかの男と浮気をするとかの拍子に抜けなくなると信じられていた。つまり男のモノが撤去出来なくなるというのである。

「お前さん、いい事しておくくなつたらコトだぜ」「大丈夫だよ、千駄木のお札を頂いて来たから」昔、江戸は駒込の千駄木にトゲ抜き地蔵があった。このお札は、どんなトゲでも抜ける験きめがあつたのである。男のモノはトゲではないが、きっと抜けるに違ひないと思った事が、そのお札を頂いて来たものであろう。トゲの場合は刺さつた処にお札を貼るのだが、この場合は何処に貼るつもりだろうか。  
「千駄木のお札を持つてゐるゼ」と言う口説き文句もあったそうだが、今の女性は「○○持つてゐるわヨ」と言うそくな。

女はスキなのだ。



言葉、言葉、こんないい事毎日あつて欲しい。

◇或る朝、積雪のためせまくなつた道路で、前から車が来た。こちらはチエンをつけていたので左側の雪の中へ入つて道を譲つた、若いアベックの車の窓から「ありがとう」と声がかかる。なんとなく心楽しい一日であった。

◇或る朝、積雪のためせまくなつた道路で、前から車が来た。こちらはチエンをつけていたので左側の雪の中へ入つて道を譲つた、若いアベックの車の窓から「ありがとう」と声がかかる。なんとなく心楽しい一日であった。

## 昭和 50 年度 電気工事士試験実施概況

(試験日 筆記 50. 6. 10. 技能 50. 8. 10.)

受験地 年 度	区分 出願者 総 数 (A)	筆記試験 免除者 (B)	記 試 験					技 能 試 験					総合格率 (H) / (A)	備考	
			受験予定 者 (C)	欠席者 (D)	実受験者 (E)	合格者 (F)	合 格 率 (E) / (D)	受験予定 者 (F)	欠席者 (G)	実受験者 (H)	合格者 (I)	合 格 率 (H) / (G)			
札幌	48	1,501	260	1,241	79	1,162	376	32.4	636	26	610	355	58.2	23.7	( ) 内 筆免 H / B
	49	1,618	380	1,238	100	1,138	602	52.9	983	56	927	683	73.6	42.2	
	50	1,106	359	747	46	701	353	50.3	836	65	771	(238) 625	81.0	56.5	66.2
函館	48	233	32	201	11	190	48	25.3	80		80	35	43.8	15.0	H / B
	49	241	47	194	18	176	99	56.3	148	10	138	90	65.2	37.3	
	50	242	51	191	13	178	80	44.9	141	10	131	(36) 107	81.5	44.2	70.5
江差	48														
	49														
	50	25		25	2	23	12	52.1							
俱知安	48														
	49														
	50	116		116	2	114	45	39.4							
岩見沢	48														
	49														
	50	317		317	12	305	80	26.2							
旭川	48	483	109	374	30	344	94	27.3	220	12	208	112	53.8	23.2	H / B
	49	615	140	475	41	434	193	44.5	424	17	407	296	72.7	48.1	
	50	617	149	468	18	450	165	36.6	417	17	400	(112) 333	83.2	53.9	75.1
留萌	48														
	49														
	50	20		20	2	18	8	44.4							
稚内	48														
	49														
	50	21		21	2	19	6	31.5							
網走	48	北見 119		119	5	114	23	20.2							
	49	北見 220		220	11	209	102	48.8							
	50	196		196	5	191	78	40.8							
室蘭	48	311	70	241	21	220	49	22.3	119	6	113	45	39.8	14.5	H / B
	49	403	70	333	20	313	122	39.0	192	4	188	105	55.9	26.1	
	50	431	105	326	23	303	87	28.7	185	9	176	(54) 110	62.5	25.5	51.4
浦河	48														
	49														
	50	20		20	1	19	5	26.3							
帶広	48														
	49														
	50	50		50	5	45	22	48.8							
釧路	48	208	45	163	19	144	129	20.1	80	7	73	37	50.7	17.8	H / B
	49	395	72	323	35	288	126	43.8	206	13	193	139	72.0	35.2	
	50	347	87	260	18	242	65	26.8	192	10	182	(58) 143	78.5	41.2	66.6
根室	48														
	49														
	50	35		35	3	32	14	43.7							
計	48	2,855	516	2,339	165	2,174	619	28.5	1,135	51	1,084	584	53.9	20.5	H / B
	49	3,492	709	2,783	225	2,558	1,244	48.6	1,953	100	1,853	1,313	70.9	37.6	
	50	3,543	751	2,792	152	2,640	1,020	38.63	1,771	111	1,660	(498) 1,318	79.3	37.2	66.3

# 正賀

あかるい明日を技術でひらく

全道随一の照明設備センター  
電設機器資材の総合電機卸

明日をひらく

電設資材の総合卸商社

**東芝電材株式会社**

函館営業所

040 函館市大繩町二十二番十四号  
電話 函館 (41) 二二四一

新しい住まいづくり

**松下电工株式会社**

函館営業所

函館市昭和町三九六の一  
電話 函館 (42) 五八二一

工事材料・電化製品

**丸晃電気株式会社**

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話 (49) 一三一三

全道随一の照明設備センター  
電設機器資材の総合電機卸

株式会社工ミヤ商会

函館出張所

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七  
電話 (49) 六二一一  
照明 函館市千才町十九の三  
出張所 札幌 八雲 福島

綜合卸商

**隆東電機株式会社**

函館市西桔梗町五八九一〇八  
電話 (49) 六二二六

電設資材・機電総合卸

**進和電機株式会社**

040 函館市松川町三四一一三  
電話 (42) 六二三一

全道随一の照明設備センター  
電設機器資材の総合電機卸

株式会社工ミヤ商会

函館市豊川町七番二八号  
電話 (28) 三〇二一(代表)  
本社・札幌支社・東京営業所・釧路  
出張所 苦小牧

電気工事材料

**石垣電材株式会社**

函館出張所

本社 〇〇 札幌市中央区北一条西二丁目二番地  
本店 〇〇 苦小牧市末広町七番  
出張所 〇〇 函館市八幡町二〇番一三八三号  
TEL (03) 4423788  
TEL (03) 4421131  
TEL (03) 4421132(大代表)

電設資材総合卸商社

株式会社

佐久間電気商会

取締役社長 佐久間正明

函館支店  
函館市昭和町一〇四の四  
TEL 四三一四二一  
札幌市白石区菊水南町三丁目一五九  
TEL (01) 231-1331(大代表)  
室蘭 苦小牧 鉄路 帯広 小樽